

第3節 精神保健福祉

1 精神障害者受療状況

表1-1 精神障害者受療状況（精神入院）

（平成25年度）

	措置入院 管内 計	応急入院 管内 計	医療保護入院						入院計 管内 計
			管内 計	か ほ く 市	白 山 市	野 々 市 市	津 幡 町	内 灘 町	
総 数	13	26	781	152	294	114	132	89	820
症状性を含む器質性精神障害 (F00-09)	0	2	254	55	95	28	48	28	256
精神作用物質使用による精神及び行動の障害 (F10-19)	1	1	34	2	14	8	1	9	36
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 (F20-29)	7	12	305	43	132	46	52	32	324
気分（感情）障害 (F30-39)	3	7	140	41	34	25	28	12	150
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害 (F40-48)	1	0	20	3	7	3	2	5	21
生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群 (F50-59)	0	0	6	1	2	0	1	2	6
成人の人格及び行動の障害 (F60-69)	1	0	1	0	1	0	0	0	2
知的障害（精神遅滞） (F70-79)	0	0	13	2	7	3	0	1	13
心理的発達の障害 (F80-89)	0	3	7	5	1	1	0	0	10
小児（児童）期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害 (F90-98)	0	0	1	0	1	0	0	0	1
詳細不明の精神障害 (F99)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神経梅毒、進行麻痺 (A52)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
てんかん (G40)	0	1	0	0	0	0	0	0	1

※精神保健福祉法に基づく入院届及び定期病状報告数

表1-2 自立支援医療受給者証交付状況（精神通院）

（平成25年度）

	管内計	かほく市	白山市	野々市市	津幡町	内灘町
受 給 者 数	2,529	388	1,050	499	320	272

※ 精神障害通院医療費公費負担は、平成18年4月1日から自立支援医療となり、申請窓口は市町村となった。
また、2年毎の更新が毎年申請が必要となった。

2 精神障害者保健福祉手帳交付状況

表2 精神障害者保健福祉手帳交付状況

（平成25年度）

	計	かほく市	白山市	野々市市	津幡町	内灘町
計	656	78	312	132	73	61
1 級	46	4	22	11	5	4
2 級	517	68	239	98	57	55
3 級	93	6	51	23	11	2

※ 1級：精神障害であって、日常生活の用を弁ずることを不能ならしめる程度のもの
2級：精神障害であって、日常生活が著しい制限を受けるか、又は日常生活に著しい制限を加えることを必要とする程度のもの
3級：精神障害であって、日常生活若しくは社会生活が制限を受けるか、又は日常生活若しくは社会生活に制限を加えることを必要とする程度のもの

※ 精神障害者保健福祉手帳は、平成18年4月1日から申請窓口は市町村となった。

有効期間は2年間であり、平成25年4月1日～平成26年3月末までに交付を受けた者の総数を記載。

3 精神保健福祉相談及び訪問指導

表3-1 精神保健福祉相談件数の内訳 (平成25年度)

	管内計		石川中央		河北地域センター	
	実件数	延件数	実件数	延件数	実件数	延件数
電話相談		1,547		1,469		78
来所相談	109	138	101	129	8	9
訪問指導	65	202	65	202		
計	174	1,887	166	1,800	8	87

表3-2 精神保健福祉相談の来所経由別 (実件数のみ) (平成25年度)

	管内計		石川中央		河北地域センター	
	来所相談	訪問指導	来所相談	訪問指導	来所相談	訪問指導
本人	30	1	27	1	3	
家族	59	7	56	7	4	
病院	1	2	1	2		
福祉事務所						
保健所	2	40	2	40		
精神保健福祉センター		1		1		
市町	4	7	4	7		
職場・学校	7		7			
民生委員						
その他	5	7	4	7	1	
計	108	65	101	65	8	0

表3-3 精神保健福祉相談の年齢別延件数 (平成25年度)

	管内計			石川中央			河北地域センター		
	電話相談	来所相談	訪問指導	電話相談	来所相談	訪問指導	電話相談	来所相談	訪問指導
0～9歳									
10～19歳	96	13	9	95	13	9	1		
20～29歳	318	26	41	279	25	41	39	1	
30～39歳	232	20	21	219	19	21	13	1	
40～49歳	218	35	29	208	32	29	10	3	
50～59歳	397	13	63	395	12	63	2	1	
60～69歳	158	14	22	150	11	22	8	3	
70歳～	88	14	17	87	14	17	1		
不明	40	3		36	3		4		
計	1,547	138	202	1,469	129	202	78	9	0

表3-4 精神保健福祉相談の内容別延件数 (複数選択も可) (平成25年度)

	管内計			石川中央			河北地域センター		
	電話相談	来所相談	訪問指導	電話相談	来所相談	訪問指導	電話相談	来所相談	訪問指導
老人精神保健	64	11	14	63	10	14	1	1	
社会復帰	898	54	117	848	53	117	50	1	
アルコール	84	3	11	84	1	11		2	
薬物	13		4	13		4			
ギャンブル	4	2		4	2				
思春期	75	10	8	74	10	8	1		
心の健康づくり	351	52	44	329	49	44	22	3	
その他	58	6	4	54	4	4	4	2	
計	1,547	138	202	1,469	129	202	78	9	0

※その他：治療中断、未受診者、自殺未遂、DVなど危機介入を含む

表3-5 精神保健福祉相談の診断別延件数（診断名はICD10に準ずる）

（平成25年度）

	管内計		石川中央		河北地域センター	
	来所相談	訪問指導	来所相談	訪問指導	来所相談	訪問指導
症状性を含む器質性精神障害（F0）	1	9		9	1	
精神作用物質使用による精神および行動の障害（F1）	1	9	1	9		
統合失調症、統合失調型障害および身体表現性障害（F2）	31	106	28	106	3	
気分障害（F3）	14	31	14	31		
神経症性障害、ストレス関連障害身体表現性障害（F4）	8	13	8	13		
生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群（F5）						
成人のパーソナリティおよび行動の障害（F6）	1	5	1	5		
精神遅滞（知的障害）（F7）	7	5	7	5		
心理的発達の障害（F8）	8	9	8	9		
小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害（F9）						
てんかん（G40）						
その他	30	4	27	4	3	
保留	13	3	13	3		
不明	24	8	22	8	2	
計	138	202	129	202	9	0

4 精神障害者社会適応訓練事業

表 4 社会適応訓練事業登録事業所と利用者数（平成 25 年度）

所在地	訓練先	訓練内容	利用者数
野々市市	園芸	園芸補助	2
	飲食業	厨房補助・掃除	1
かほく市	農作業	農作業補助	1
合 計	3 カ所	—	4

5 地域家族会への支援

表 5 地域家族会への支援状況（平成 25 年度）

区分	回数	参加人数	内容
家族会（ちよに会）	9	46 人	役員会・総会・家族の集い等

6 地域精神保健福祉連携会議

表 6 地域精神保健福祉連携会議の開催状況（平成 25 年度）

名称	日時	参集者	参加人数	内容
管内精神保健福祉担当者連絡会議	平成 26 年 3 月 25 日	市町、病院、相談支援事業所、こころの健康センター	16 人	管内の精神保健福祉担当者の連携について検討等

7 ひきこもり社会参加復帰支援事業

ひきこもりの多くが不登校経験を持ち、不登校からひきこもりに至り社会適応が困難・長期化しやすいこと等から、不登校から継続して支援する体制を整備する必要がある。中学校・高等学校等と連携して、ひきこもりの初期から支援を行い、長期化を予防し、社会参加の促進を図ることを目的とする。家族教室では、座談会を中心に、勉強会・情報交換・個別相談等。必要に応じて精神科医の相談を紹介している。

表 7-1 ひきこもりに関する相談状況（平成 25 年度）

	管内計			石川中央			河北地域センター		
	電話相談	来所相談	訪問指導	電話相談	来所相談	訪問指導	電話相談	来所相談	訪問指導
実人数	23	15	5	20	14	5	3	2	—
延人数	114	33	22	111	31	22	3	2	—

（注）両方の施設で相談を受けた方あり。

表 7-2 家族教室（ひきこもりの子どもを持つ親の会）（平成 25 年度）

開催回数	参加人数	内容等
11 回	実 32 人 延 47 人	<ul style="list-style-type: none"> 毎月第 4 月曜日午後、石川中央保健福祉センターにて開催 定休日以外に 1 回、当事者グループの方々のお話を聞く機会を設けた。 開催日時：平成 25 年 10 月 20 日（日） 内容：ひきこもり当事者グループ悠々クラブ参加者からのメッセージ・質疑応答 講師：悠々クラブのメンバー 6 名

8 精神障害者地域生活支援事業

精神科病院に入院している精神障害者のうち、支援体制が整えば地域生活に移行可能な者に対し、関係機関が連携して支援することにより、精神障害者の社会復帰の促進を図る。

また、支援活動を行うにあたり、地域で生活する当事者をピアサポーターとして県で養成し、対象者や家族に対し、地域移行に関する相談・助言を行う。

表 8-1 ピアサポーターの活動実績

登録者数 2名(新規 2名)

(平成 25 年度)

活動内容	活動人数	活動件数
体験報告	2人	1件

表 8-2 地域連携会議の開催状況

(平成 25 年度)

日時	参集者	参加人数	内 容
平成 26 年 3 月 25 日	市町、病院、相談支援事業所、こころの健康センター	16 人	<ul style="list-style-type: none"> ・地域移行支援・地域定着支援事業の実践報告 ・地域移行支援・地域定着支援事業の現状と課題 ・管内における精神保健福祉相談事業の現状と課題 ・意見交換

9 自殺防止緊急対策事業

自殺対策を総合的かつ効果的に推進するため、「自殺対策行動計画」に基づき、各重点施策等を実施し、自殺者数の減少等を図る。

表 9-1 自殺対策地域連携会議の開催状況

(平成 25 年度)

日時	参集者	参加人数	内 容
平成 26 年 2 月 6 日	市町、警察、消防、病院	16 人	石川県の自殺者数の推移と概況 関係機関から対策及び対応の報告 事例発表・意見交換

表 9-2 ゲートキーパー等養成事業の開催状況

各種相談担当者のみならず、広く一般の人々に自殺予防に関する理解を深め、身近な人の異変に気づき、声をかけ、話を聴き、適切な相談先を紹介できる人(ゲートキーパー)を養成する。

ゲートキーパー出前講座として、地域の相談窓口や受付窓口、地域で悩みを抱えた人の周囲の人たちを対象に養成を実施。職場内ゲートキーパー養成研修として、企業のメンタルヘルス担当者等に職場内でゲートキーパー講習を実施するための指導者養成研修を実施。ほっとハート店事業として、対面で接客等を行う店員を対象に養成を実施した。

(平成 25 年度)

事業名	月日	対象者	参加人数
ゲートキーパー出前講座	平成 25 年 9 月 11 日	一般市民(市民講座受講者)	24 人
職場内ゲートキーパー養成事業	平成 25 年 9 月 18 日	企業の安全衛生責任者	8 人
ほっとハート店推進事業	平成 25 年 10 月 17 日	薬剤師会員	25 人

表 9-3 うつ・依存症家族教室事業の開催状況

自殺リスクの高いうつや依存症者の家族や支援者等に対し、正しい知識を普及する。また、家族自身の心身の健康を守るための方法なども学び、家族等への支援を通してうつ・依存症者への支援を図る。

(平成 25 年度)

日時	名称	参集者	参加人数	内容
平成 26 年 2 月 21 日	うつ病 家族教室	うつ病と診断された 方の家族、うつ病と 思われる方の家族	20 人	・講話「うつ病の理解と対応」 講師 公立松任石川中央病院 精神科医 武藤 宏平 氏 ・質疑応答・意見交換会

表 9-4 ハローワークにおける相談事業の開催状況

県内のハローワークにおいて、多重債務相談とこころの相談などワンストップ相談を開催し、相談支援の充実を図り、自殺予防につなげる。

(平成 25 年度)

日時	会場	出務者(職種)	参加人数
平成 25 年 9 月 11 日	ハローワーク津幡	弁護士、司法書士、保健師	2 人
平成 25 年 9 月 13 日	ハローワーク白山	弁護士、司法書士、保健師	3 人
平成 26 年 3 月 6 日	ハローワーク津幡	弁護士、司法書士、保健師	3 人
平成 26 年 3 月 7 日	ハローワーク白山	弁護士、司法書士、保健師	0 人

表 9-5 自殺未遂者支援体制整備事業の開催状況

自殺未遂者に対応する救急医療現場において、必要な精神科医療が確実に提供されるよう救急医療と精神科医療の連携強化を図るとともに、自殺未遂者の地域における生活を継続的に支援する体制づくりを推進し、自殺未遂者の再企図を防止する。

(平成 25 年度)

日時	参集者	参加人数	内容
平成 26 年 1 月 30 日	救急告示医療機関、精神科・心療内科 を標榜する医療機関、市町職員	49 人	・講義「自殺未遂者の対応の重 要性について～かけがえのない 命を守るために～」 講師 石川県こころの健康センター 角田 雅彦 所長
平成 26 年 2 月 17 日	白山野々市広域消防本部	64 人	・講義「自殺未遂者対応の重要 性と救急隊員の心のケア」 講師 石川県こころの健康センター 角田 雅彦 所長
平成 26 年 2 月 19 日	かほく市消防本部、津幡町消防本部、 内灘町消防本部	17 人	・講義「自殺未遂者対応の重要 性と救急隊員の心のケア」 講師 石川県こころの健康センター 角田 雅彦 所長

10 関係機関との連携

表10 関係機関との連携、会議等への参加状況

(平成25年度)

会議名	回数	参加 延人数	主催	内容
かほく市地域自立支援協議会 全体会	2	51	かほく市	かほく市における障害者福祉全体の充実に関する検討
かほく市地域自立支援協議会 しごと部会	5	47	かほく市	かほく市における障害者の仕事に関する検討
かほく市地域自立支援協議会 くらし部会	3	27	かほく市	かほく市における、障害者のくらし問題全般に関する検討
白山市障害者等自立支援協議会 全体会	1	85	白山市	白山市における障害福祉全体の充実に関する検討
白山市障害者等自立支援協議会 定例支援会議	1	12	白山市	白山市における障害者福祉の充実に関する検討
白山市障害者等自立支援協議会 メンタルヘルス支援検討部会	9	84	白山市	白山市における精神障害者福祉の充実に向けた検討
白山市障害者等自立支援協議会 すまいのあり方検討部会	1	6	白山市	白山市における障害者のすまいのあり方に関する検討
白山市こども支援検討部会	11	125	白山市	白山市における療育問題に関する検討
野々市市障害者自立支援協議会	1	19	野々市市	野々市市における障害者福祉の充実に関する検討
内灘町自立支援協議会	2	27	内灘町	内灘町における障害者福祉の充実に向けての検討
地域連携会議	2	55	病院	病院と地域の連携について検討
ケース会議	3	32	県関係	個別ケースの支援方法や役割分担等について、検討危機介入方法について
ケース会議	4	38	白山市	個別ケースの支援方法や役割分担等について、検討危機介入方法について
ケース会議	7	36	野々市市	個別ケースの支援方法や役割分担等について、検討危機介入方法について
ケース会議	1	10	津幡町	個別ケースの支援方法や役割分担等について、検討危機介入方法について
ケース会議	3	26	事業所	個別ケースの支援方法や役割分担等について、検討支援方法についての検討
ケース会議	1	6	保護観察所	個別ケースの支援方法や役割分担等について、検討支援方法についての検討
ケース会議	15	99	病院	個別ケースの支援方法や役割分担等について、検討支援方法についての検討